

第6章 横須賀線（東京～久里浜）

第1節 2002年10月13日（日）：久里浜～鎌倉 晴れ

久里浜(10:45)～衣笠(12:05)～横須賀(13:30)～田浦～東逗子(15:40)
～逗子(16:15)～鎌倉(17:20)

平成14年10月13日（日）、今日は両親の53回目の結婚記念日であると同時に1500Km 走破記念日でもある。当初、鎌取から二俣新町を予定していたが、体調不良につき急遽横須賀線に変更した。神奈川エリアはアクセスに時間を要しないため、今回のようなときにピッタリである。9時6分南林間の急行に乗り、藤沢経由で大船に出て、横須賀線で久里浜に向った。10時45分頃久里浜駅に着く。今日は体調が十分でなかったため、車中から道路状況を観察する余裕がなかった。



※久里浜駅、衣笠駅への路



※衣笠駅への路、衣笠駅

久里浜駅を出るといきなり平作川が目についた。この川には小型舟が沢山止められていた。衣笠駅までは平作川が何らかで関与していたような気がする。衣笠大通り商店街は300m位連なるアーケードつきの立派な町並みであった。衣笠駅には12時5分に到着。この駅でウォーキンググループと出会った。100名位はいただろう。県道26号を通り横須賀駅に向う。この道の左には山があり、この道を通らないと行けない。横須賀は港町と同時に米国

的臭いのする町であった。何人もの外国人に出会った。ここにも、商店街が並ぶ三笠通りがあった。横須賀駅前には海岸に面してヴェルニー公園があり、その一角にヴェルニー記念館があった。

この記念館は、横須賀製鉄所（造船所）を建設し、日本近代化工業化の基礎をつくりあげたフランス人、フランソワ・レオンス・ヴェルニーの功績と横須賀製鉄所建設の意義を、永く後世に伝えるために建てられたとのことである。



※横須賀駅



※ヴェルニー公園

このヴェルニー公園のベンチで家内に作ってもらった握り飯を食べた。13時半頃であった。沢山の若いカップルがベンチに腰掛け横須賀の海を見ながら何かを語っていた。また沢山の鳩が餌を求めて私の回りを歩いていた。新逸見隧道を始めとするトンネルを4～5個通り抜け田浦駅に向う。ここのトンネルは内房線のトンネルとは異なり、歩道がちゃんとありかつ上りと下りの車道が分離されていたので、車に対する恐怖感はなかった。トンネルを二つ位越え、国道16号線から県道24号線に左折し、逗子方面を目指す。途中山越えがあった。計算によると東逗子で1500Kmを突破する。東逗子駅には15時40分頃到着する。



※田浦駅、東逗子駅
 (第51回わいわい会にて：2013年10月5日(土)：横須賀～逗子)



※東逗子駅、逗子駅



※逗子駅

逗子駅のと鼻の先に真言宗ゆかりの逗子大師円延命寺があった。逗子駅には16時15分到着。それから山越えして鎌倉に向う。歩くのが早い位JR線の踏切の影響で車は渋滞していた。鎌倉駅には17時20分到着する。江ノ電経由で藤沢に出て小田急で南林間へ。自宅には19時5分到着。今日の成果は、営業距離19.4Km、万歩計42,028歩だった。今日は道に迷うことなく、誰にも道を聞かずに進むことができた珍しい一日であった。また、山あり海ありの愉快的なコースでもあった。

第2節 2002年11月30日(金): 鎌倉～東戸塚 晴れ

鎌倉(10:40)～北鎌倉(11:30)～大船(12:15)～戸塚(14:25)～東戸塚(15:50)

鎌倉の続きは、11月30日(金)となった。先週は故郷香川に行っていた関係で中抜きとなった。帰りのバスでは沼津近郊で事故があり東名から御殿場線に沿った国道246号線による迂回があった。途中岩波駅の近郊をバスが通過する。御殿場線の下見をさせてもらった感じでは、歩道がない箇所が随所であり、ウォーキングとしては不向きなコースであった。夜行バスでの往復の疲れもあり、自宅を出たのは9時半頃だった。家内に南林間まで送ってもらい、藤沢、大船経由で鎌倉に向う。乗り継ぎも比較的好かったが、自宅を出る時間が遅かったため、鎌倉駅に着いたのは10時40分だった。自宅出る時大事なものを何か忘れたような予感がした。でも、大船駅まで気が付かず。実は私のウォーキングで大切な道具である万歩計を忘れる。これは初めての経験であった。



※鎌倉駅

鎌倉駅はこれまで何度も来たことがある。駅前で写真を撮るのを初めて撮った。鶴岡八幡宮への続く商店街でフィルムと万歩計を購入して、北鎌倉駅を目指す。今日は天気もよくウォーキング姿の人が歩道に沢山いて進まず。「亀の足 小春日和の 鎌倉路」途中、巨福呂坂洞門、円応寺、建長寺があり。第三鎌倉道踏切を渡り北鎌倉には11時30分に到着。大船駅は一昨年根岸線走破の時通過した駅なので懐かしく思えた。駅前の大船観

音は何時見ても神秘的であった。12時15分頃大船駅前の「ラーメン屋」で昼食をとる。ラーメン専門店にも関わらず、今日の味噌ラーメンは今ひとつだった。もう少し辛抱すれば、「てんや」や「吉野家」があった。失敗したものだ。



※北鎌倉駅、大船駅への路（背後に大船観音）

大船駅までは順調に歩くことができたが、昼食後、極力横須賀線に沿って極力つたい歩きましょうと思いつまずく。いたち川近郊と横浜市立飯島中学校近郊で何回も行き止まりに遭遇する。坂や川の他に、根岸線もこの近郊を走っており、地形を複雑にしていた。根岸線でも横浜線でも経験したが、横浜市というのはやたらに坂が多い。今日は久し振りに山登りをやらせてもらった。



※大船駅

戸塚駅への到着は14時25分となった。戸塚駅も高校時代の友人がこの近郊に住んでいたこともあり、20数年前に来たことがあった。懐かしく思えた。戸塚から少しでも静かな道を歩こうとして、柏尾川の土手に沿って歩こうとして、ここでも行き止まりと回り道に遭遇する。国道1号線に出て保土ヶ谷まで8Kmの標識を見つけた。時計は15時頃だった。横浜行きの路線バスが走っていた。順調に行っても保土ヶ谷駅には17時、横浜駅には18時位だろう。夏であれば、十分対応できるが、この季節16時を過ぎると辺りは急に暗くなる。困ったことになったと考えていると、前方に東戸塚駅への道路標識が目に入った。ほっとした。東戸塚駅には15時50分到着。本来ならば、保土ヶ谷、横浜と糞馬力で歩きたいとこ

ろ、日照時間の都合で東戸塚駅にて打ち切る。日没後の不案内の土地はリスクである。総武本線で2回経験したことを生かすこととした。東戸塚駅は歴史が浅い駅の割には賑やかだった。駅も近代的な建物の中にあった。15時57分の君津行きで電車に乗る。自宅には相鉄さがみ野からのバスの連結もよく17時15分到着。今日の営業距離は14.3Km、万歩計は36,976歩だった。



※戸塚駅、東戸塚駅

第3節 2003年8月30日（土）：大崎～東戸塚 晴れ

東戸塚(9:10)～保土ヶ谷(10:40)～横浜(11:37)～新川崎(15:08)～武蔵小杉
～西大井(18:40)～大崎(19:30)

第100回目のウォーキングは、2003年8月30日（土）、曇り空の中実施した。昨日は「小さな挑戦」の監修でお世話になった藤岡さんと残暑見舞いをしていた関係で気持ちよく眠りについていたら、愛犬セブンが6時半過ぎに起こしに来る。それで、セブンの散歩を済ませ、小田急の藤沢駅周りで大船駅に出て、横須賀線の東戸塚駅に向かう。大船駅には始発の新宿駅経由宇都宮駅行きの湘南ライナーが待っていた。横須賀線は不慣れのため、千葉行きの電車を見逃す。同じ横須賀線でも湘南ライナーとこれまでの横須賀線では電車のデザインが異なる。前者はどちらかといえば、グリーン系で後者はグレイ系の色合いである。あらためて違いを認識した。現地には9時10分の到着となる。何かを忘れたのではないかと疑心暗鬼していたが、案の定、時刻表を忘れてしまった。本日のコースは、朝起きて急遽思いついたので、各駅間の距離を記録せずに挑戦となった。しかし、幸いなことに、東戸塚駅から大崎駅間の距離は、以前時刻表を見たとき30Kmちょっとという記憶があったので何とか不安を払拭することができた。

本日は、これまでのまとめに相応しいコースとなった。東戸塚から鶴見までは、根岸線・横浜

線・京浜東北線の復習、鶴見から新川崎までは南武線の復習となった。それから、新川崎から大崎駅にかけては、池上線、東横線、大井町線の復習となった。ただ、南武線を除き歩く方向が本日のコースと逆だったので、風景が全く異なっていた。

東戸塚駅から数分行くと、いきなり権田坂交差点にぶつかりどちらの方向に進むべきか思案する。直進は権田坂、左折は新横浜方面の道路案内だった。地図を確認したが方向性がわかるほど詳細でなかったので、ジョギング姿の通行人に聞く。境木本町、保土ヶ谷養護学校、県立光陵高校経由で権田坂を通過する。権田坂の通りは、坂でカーブが多く、センターラインのない私道のような公道であった。道に迷わないようにするため、JR線に一番近い道を歩く。それゆえ、行き止まり・袋小路を心配しながらの歩きとなった。この近郊のJR線は谷間を走っていた。箱根駅伝でお馴染みの権田坂の方向に進むことにする。権田橋を渡ると、センターラインのある道路になった。保土ヶ谷駅には、10時40分到着。



※保土ヶ谷駅、横浜駅

保土ヶ谷駅から横浜駅までは平坦な道であった。途中、高島町辺りで関内・桜木町の方に行きそうになったが、この近郊は根岸線走破の際等に来たことがあるので迷うことなく通過することができた。横浜駅東口には11時37分到着。駅前の広場で、今週の日曜日に2,000Km踏破記念に買ったカメラ付携帯電話に100回目ウォーキング挑戦の自画像をカメラに収める。昼食の時間帯になったので、横浜駅前のすき家で休息をとる。本日ですき家は3回目となった。



※新川崎駅、多摩川に沿った小川

午後の部は 12 時 10 分頃となった。横浜駅から鶴見駅にかけて J R 線にほぼ平行な国道 1 号線を歩く。J R 線は、国道に対し右手側にあった。国道に一番近いところが横須賀線、その次に東海道線、京浜東北線があり、一番遠いところに横浜線があった。各線上下 2 本ずつあったので少なくとも 8 本の線路があった。おそらく数 Km にわたりこのような線路が続くのは、日本広いと言えども、この近郊だけではないだろうか。そういう意味で希少価値の高い区間であった。横浜線踏破の際クリアした東神奈川駅が横浜駅から 20 分位歩いたところに国道 1 号線沿いにあった。大口通で国道 1 号線から横浜線（頭上）が分岐していた。懐かしい大口通りの商店街が国道 1 号線から見えた。途中、湧き水が出る箇所があり、親切な先客から番を譲ってもらい、ペットボトルを満タンにする。稲荷神社前手前の交差点でスピード違反のピザ配達少年が白バイに御用の場面に出くわす。



※武蔵小杉駅、田園調布通り

鶴見川を超え、数分行ったところから、国道 1 号線に別れを告げ、横須賀線つたい歩きに戻る。江ヶ崎踏切（尻手短絡線）を越え、南武線踏破の際迷った小倉エリアを通り、新川崎駅には 15 時 8 分に到着。前回迷った箇所と次々対面する。鹿嶋田駅への道もあった。今回の歩きを通じ、新川崎駅近郊の位置関係が理路整然になったような気がする。

しかしながら、西大井駅への道は平坦な道ではなかった。第一の敗因は、駅名を正しく把握していなかったことにある。老化現象で小さい活字を読み間違え、西新井駅であると勘違いしていた。また、新川崎駅から西大井駅までの距離へのデータがなかったことである。横浜駅＝新川崎駅間の 9.3Km には僅かに及ばないが、9.1Km もの距離があるとは知らなかった。しかも、南武線と多摩川が複雑に絡んで、新川崎駅から多摩川越えまでは距離以上に難所のところがあった。更に、東海道新幹線がこの近郊で合流するので一層複雑化に拍車をかけた。何回も地図を見て用心深く進むことにした。横須賀線の踏切である御幸踏切を越えるかどうか迷った。背中の方の 200m 位先に南武線電車が通過しているのを見て、この踏切を通過せず、南武線の方に進むことにする。多摩川越えに当たっては、南武線通過が余儀なくされるため、南武線を先ずミステリーから消去するためこの選択をとった。中丸子第三踏切（16 時 8 分）を超え、南武沿線道

路に出て、地図を再度確認する。地図はよく分からず、ガソリンスタンドの紹介で交番に聞くことにする。「南武沿線道路を10分位歩いたところに、丸子橋への道（綱島街道）があります。」の説明を受けた。東横線踏破の際通過した「丸子橋」を16時45分通過する。多摩川では、夏の終わりを楽しむ人達で一杯だった。

橋を渡るや否や、階段を下りる。多摩川に沿って、東急多摩川線があった。この線路に沿って錦鯉がいる川（川幅2m位、水深30cm）に沿って遊歩道があった。川の所々に1m位の深みがあり鯉がたむろしていた。200m位横須賀線に向かい、立派なお寺のある所から左折し横須賀線に平行して進む。田園調布本町のさくら坂を通り、田園調布通りの商店街で17時の「からす」のメロディを聴く。17時も過ぎ道に迷うと致命傷になるので、極力横須賀線のつたい歩きに進路を変更する。環状8号線当りで横須賀線を見つける。この道路の下にJR線がありほっとした。新幹線と横須賀線が下方に西大井駅近郊まで平行して走っていた。東京に向かい、右手側が横須賀線であった。横須賀線と新幹線の間には金網上の柵があった。レールは横須賀線の方がピカピカに光っていた。新幹線のレールは若干さびているような気がした。池上線走破の際通過した、御嶽山神社や御嶽山駅のほか、久が原、池上等の地名を通り、西大井駅を目指す。



※西大井駅、御嶽橋

歩いても歩いても西大井駅は見えてこない。馬込二本木公園を18時通過し、少し言ったところにお回りさんがいたので、西大井駅への道のりを聞く。先週に比べ、また日没が早くなっていた。今日は、まだ18時であるが、先週の18時22分と同じくらいの夕刻になっていた。まだ15分くらいはあるとのことだった。



※大崎駅

東馬込近郊を通り、西大井駅には18時40分に到着。8月末にもなると、辺りは真っ暗であった。荏原の公園では、私が小学校時代楽しんだ「屋外アニメ映画」が上映されていた。沢山の子供連れの親子で公園中一杯であった。それから、戸越公園の町を30分程度散策して、大崎駅には19時30分に到着する。大崎駅は湘南ライナー通過駅の関係で駅は改装されたのか、3年前の山手線踏破時に比べ、駅内はとても広く近代的な駅に変身していた。自宅には21時25分に到着。本日の成果は、営業距離で31.9Km、万歩計で68,338歩だった。本日は、コースといい、距離といい、それから立派な大崎駅といい、100回目ウォーキングを飾るのにふさわしい一日となった。

第4節 2024年5月24日（金）：西大井～品川 晴れ

2024年5月24日（金）晴れ、昨年5月4日（木）、第58回目リベンジである都営大江戸線仕上旅げ以来、本日は第59回目のリベンジの旅となった。今回のリベンジの目的は、「こだわり鉄道つたい歩き」PDF読本の第15巻（総武本線・横須賀線）の執筆に当たり、横須賀線の西大井～品川（営業キロ3.6km）と総武緩行線線（錦糸町～御茶ノ水：営業キロ4.3km）に加え、御茶ノ水～神田（営業キロ1.3km）の明確な歩き鉄の証跡がないことが判明したため本日の歩きとなった。本日のリベンジにより、通算営業キロは**1万5千634km（活動日数771日、日本の鉄道の56.4%、地球円周の39.0%）**となり、当面の目標の1万6千キロまで366kmと少し近づいた。



※横浜駅

本日のリベンジ等の手順は、次の通りで、充実した有意義な一日となった。乗り鉄、歩き鉄を通じ、横浜駅、新川崎、武蔵小杉、西大井、品川、新橋、東京、馬喰町、錦糸町を経由する旅もできた。同時に、総武線（快速）・横須賀線・湘南新宿ラインを体系的に理解・整理することができた。すなわち、西大井～大崎ルートが新宿湘南ライン、西大井～品川ルートが総武線（快速）と。

<本日のプラン>

- ①小田急・相鉄線で横浜まで移動。そして、横浜から横須賀線で西大井まで移動。
- ②横須賀線つい歩き（西大井～品川）
- ③品川～錦糸町まで総武本線で移動。
- ④総武緩行線つたい歩き（錦糸町～両国～浅草橋～秋葉原～御茶ノ水）
- ⑤中央本線つたい歩き（御茶ノ水～神田）
- ⑥神田から山手線で御徒町へ。先日ロストしたサングラス購入、サンマルクカフェで休憩。
- ⑦王子駅に移動しみどり生命時代の仲間と懇親会。
- ⑧京浜東北線、山手線、小田急で自宅へ。

<横須賀線つたい歩き>





※西大井駅

東戸塚から西大井を経由して大崎までのルート（すなわち新宿湘南ライン）は、2003年8月30日（土）踏破済みである。約20年前の忘れかけた懐かしい風景を思い出しながら西大井まで移動する。西大井駅には10時23分到着。20年前は西大井到着は18時40分で辺りは真っ暗だった。本日は昼間の西大井駅。辺りをデジカメに収めて品川駅を目指す。10時32分、二葉すこやか園前を通過。10時43分、東急大井町線の下神明駅前を通過。新幹線と横須賀線が並走していた。10時47分、しながわ中央公園前を通過。将来の日本を支える沢山の活動的な児童の姿を見る。10時58分、JR線下を潜り、鉄道の左側となる。しかし、後で分析したところ新宿湘南ラインの線路であった。



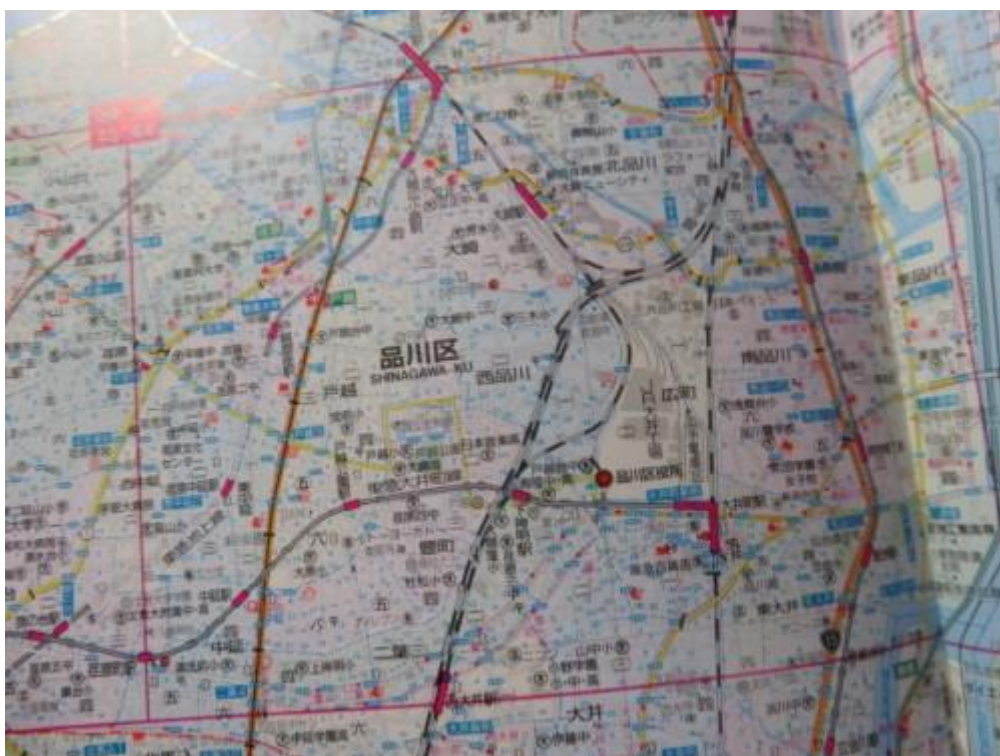


※しながわ中央公園



※遠くに品川駅？

鉄道に沿ってどんどん歩く。11時2分、西品川一丁目交差点を通過。まもなく歩くと大崎駅（11時12分）が登場しビックリ。それでも鉄道の左側に沿って歩く。何となく変だと思い、すれ違った方に「品川の方を問い合わせる」と、「間もなく歩くと五反田です」と教えて頂く。初めて、歩いている方向の誤りに気付く。自分は山手線の内側にいると思っていたら、山手線の外側を歩いていたからだ。



※西大井、大崎、品川界限の地図



※JR線下を誤って右折する（右が大崎駅、左が品川駅）



誤って大崎駅に到着



※引き返し再度大崎駅

再度、今来た道筋を引き返す。大崎駅を經由し、11時38分、歩道橋を經由し山手線を横切る。11時46分、山手通りに入る。11時52分東海道本線下を潜る。しかし、こ

こから大回りの歩きとなる。この界限は山手線、東海道本線、京急が絡み複雑な地形であった。地図やナビには全く依存せず臨んだのも路に迷う要因になった。久しぶりに「こだわり鉄道つたい歩き」の醍醐味を味わうことができた。京急の東馬場駅前には11時56分到着。12時1分、見覚えのある品川神社前を通過。右手には高架した京急の線路があった。北品川駅を經由し、12時7分、山手線、東海道本線を跨ぐ。鉄道に沿って歩いた先に、工事中の品川駅（12時17分）があった。品川12時32分発の千葉行きで錦糸町駅に移動する。



※山手線を跨ぐ



※東海道本線下を潜る、品川神社



※山手通りから国道 15 号線に合流、JR 線を跨ぐ



※品川駅への路





※品川駅

<総武緩行線などつたい歩き>

第5章で記載

第5節 品川～東京

山手線のため割愛